

ソーシャルワーク・アクション・ネットワーク・インターナショナル (SWAN-I) 設立宣言 2020年5月

ソーシャルワーク・アクション・ネットワーク・インターナショナル (SWAN-I) は、世界中のラディカルなソーシャルワーク組織と支援者のネットワークである。いくつかの国（例えばイギリス、アイルランド、ギリシャ、デンマーク）では、私たちのグループは「ソーシャルワーク・アクション・ネットワーク」と呼ばれているが、他の場所では、地元のグループは独自の名前と歴史を持っている（例えば [アメリカ合衆国] ポストン地域では、私たちの同僚は「ポストン地区解放保健福祉グループ Boston Liberation Health Group」の名称で組織されている）。

SWAN-Iグループを結びつけているのは、ソーシャルワークサービスに関わり、実践し、利用し、提供している人々すべての利益のために、ソーシャルワークの実践を改善するための政治的行動と運動へのコミットメントである。それぞれの地域グループは自分たちの身近な政治環境を知り理解したりするのに最も適している。SWAN-Iは、それぞれの地域グループの活動を改善するものではないが、共通の原則、特定の運動、そして各国でのラディカルなソーシャルワークの伝統を発展させ、強化するためにお互いを支援することで団結する。

SWAN-Iグループの加盟団体 [関係者] は、以下のことに正式に同意する。

A. 私たちは、[資本の] 利益よりも人間と人間のニーズ (human needs) を優先することに尽力し、責任を持つ。

B. 私たちは、[社会が] ソーシャルワーク、保健・福祉サービスに完全に費用負担し、[これらの公共サービスの] 利用と提供の時点では無料であることを支持する。私たちは、世界中で様々な福祉のモデルがあることを認識しているが、私たちの優先事項は、ソーシャルワークサービス、保健および福祉が、無料で最高の質ですべての人々に利用可能であるべきだ、というものである。

C. 私たちは、サービス提供の民営 [私事] 化された形態に反対する。なぜなら、それらは不平等と抑圧を強化するからであり、また公共サービスは、決

して民間企業の利潤を生産する要求と要請によって形作られるべきではないからである。これは、私たちが国家による〔社会〕サービス提供に関して無批判であることを意味しない。〔むしろ〕私たちは、現在の国家が資本および国家エリートの利益／権益を保護することに主に関係していることを認識している。

D. 私たちは、福祉提供におけるステイグマまたは選別主義のいかなる形態にも反対する。ソーシャルワーク、保健および福祉サービスは権利であり、特権ではない。

E. 私たちは、〔ソーシャルワークや保健福祉〕サービスを受け取り、そこに関わっている人々は、自身の生活のすべてを決定することに関与すべきという原則に絶対的にコミットする。障害者権利運動の言葉を借りれば、「私たちのことを私たち抜きで決めないでnothing about us, without us」である。私たちは、サービスに関わるすべての人々とソーシャルワーカーが、より良い資金〔によって運営され〕、より質の高いソーシャルワークや保健福祉サービスの提供に共通の利害を持っていると信じるものである。

F. 私たちは、あらゆる形態の不平等と抑圧に反対する。

G. ソーシャルワークネットワークとして、私たちは、ソーシャルワークの仕事（task）を遂行するためには、個人との協働からコミュニティに基づく実践、運動や政治的介入のモデルに至るまで、多くの方法があることを認識している。単一の「ラディカルなソーシャルワークモデル」は存在しない。しかしながら、私たちはまた、社会問題は個々に経験されるかもしれないが、現代の社会問題の根源は、現代の新自由主義的（ネオリベラル）な資本主義の性質と組織にあることを認識している。言い換えれば、ほとんどの私的な困難は、公共的・社会的な原因がある。そのため、究極的には、社会的大義（the social cause）に取り組むために、集団的で政治的な解決を必要とする。すなわち、ソーシャルワークとは、恥じることのない、堂々とした、明白な政治的なプロジェクト（political project）でなければならない。

試訳 伊藤 文人

/ 中野加奈子